

# **2012年度 第1四半期(4-6月)決算の概要**

**2012年7月31日(火)**

**コマツ 経営管理部**

## 2012年度第1四半期(4-6月)の概況

1. 売上・損益: 中国の建設機械需要の回復遅れに加え、ワイヤーソーの需要低迷、為替が米ドル、ユーロ等に対し円高で推移したことなどにより、対前年同期比減収減益。

|          | FY2011/1Q | FY2012/1Q | 対前年同期比   |
|----------|-----------|-----------|----------|
| 連結売上高    | 4,941億円   | 4,699億円   | ▲4.9%    |
| 営業利益     | 683億円     | 557億円     | ▲18.5%   |
| 売上高営業利益率 | 13.8%     | 11.9%     | ▲1.9ポイント |
| 純利益*     | 557億円     | 321億円     | ▲42.3%   |

\*米国税務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

## 2. 各セグメントの状況

## ■ 建設機械・車両

- ・鉱山機械の需要は中南米、オセアニアを中心に堅調に推移したものの、中国の建設機械需要の低迷による販売減等により、対前年同期比▲1.6%の減収。
- ・中国の需要減に加え、為替が米ドル、ユーロ等に対して円高となったこと等により、セグメント利益は対前年同期比▲11.0%減益。

## ■ 産業機械他

- ・プレス機械、工作機械の受注・販売は堅調に推移したが、昨年度後半から急減速したワイヤーソーの需要が回復せず、対前年同期比減収減益。

(参考) 売上高、利益の米ドル、ユーロ換算値\*

| (百万米ドル) | FY11/1Q | FY12/1Q | 増減     |
|---------|---------|---------|--------|
| 連結売上高   | 6,101   | 5,874   | ▲3.7%  |
| 営業利益    | 844     | 696     | ▲17.5% |
| 純利益     | 688     | 402     | ▲41.6% |

| (百万ユーロ) | FY11/1Q | FY12/1Q | 増減     |
|---------|---------|---------|--------|
| 連結売上高   | 4,224   | 4,747   | +12.4% |
| 営業利益    | 584     | 563     | ▲3.7%  |
| 純利益     | 476     | 324     | ▲31.8% |

\*各期末の為替レートを適用して換算。

## 3. 業績見通しの修正

第1四半期の業績ならびに期初からの事業環境の変化に基づき、2012年度の業績見直し(4月26日公表)を修正。

- 2012年度第1四半期(4~6月)の連結売上高は対前年同期比▲4.9%減の4,699億円、営業利益は対前年同期比▲18.5%減の557億円となりました。
- 建設機械・車両部門では、鉱山機械が中南米、オセアニアを中心に堅調に推移したものの、中国建機需要の低迷による販売減の影響が大きく、対前年同期比▲1.6%の減収となりました。セグメント利益は中国需要減ならびに円高の影響を受け、対前年同期比▲11.0%の減益となりました。
- 産業機械他部門では、自動車メーカー向けのプレスや工作機械の需要が堅調に推移しましたが、昨年度後半から急減速したワイヤーソーの需要が回復せず、減収減益となりました。
- 当四半期の業績および事業環境の変化に基づき、2012年度の業績予想を下方修正しました。

## 2012年度第1四半期(4-6月)の連結売上高と損益

・中国の建設機械需要の回復遅れ、昨年度前半まで好調であったワイヤーソーの需要低迷、為替レートが米ドル、ユーロ等に対して円高となったことなどにより、対前年同期比減収減益。

% : 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位: 億円

|               | FY2011/1Q<br>1ドル=81.2円<br>1ユーロ=118.3円<br>1元=12.5円 | FY2012/1Q<br>1ドル=80.6円<br>1ユーロ=104.6円<br>1元=12.8円 | 対前年同期比      |                 |
|---------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------|-----------------|
|               |                                                   |                                                   | 増 減         | 増減率             |
| 売上高           | 4,941                                             | 4,699                                             | ▲242        | ▲4.9%           |
| - 建設機械・車両     | (4,353) 4,366                                     | (4,289) 4,297                                     | (▲64) ▲68   | (▲1.5%) ▲1.6%   |
| - 産業機械他       | (588) 605                                         | (410) 430                                         | (▲178) ▲174 | (▲30.3%) ▲28.9% |
| - 消去          | ▲30                                               | ▲29                                               | +1          | -               |
| セグメント利益       | 13.8% 681                                         | 11.8% 552                                         | ▲128        | ▲18.9%          |
| - 建設機械・車両     | 13.9% 608                                         | 12.6% 542                                         | ▲66         | ▲11.0%          |
| - 産業機械他       | 14.6% 88                                          | 5.5% 23                                           | ▲64         | ▲73.1%          |
| - 消去または全社     | ▲16                                               | ▲13                                               | +3          | -               |
| その他の営業収益(▲費用) | 2                                                 | 4                                                 | +1          | +76.7%          |
| 営業利益          | 13.8% 683                                         | 11.9% 557                                         | ▲126        | ▲18.5%          |
| その他の収益(▲費用)   | *2 0                                              | ▲44                                               | ▲45         | -               |
| 税引前純利益        | 684                                               | 512                                               | ▲171        | ▲25.1%          |
| 純利益 *1        | *3 557                                            | 321                                               | ▲235        | ▲42.3%          |

\*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する四半期純利益」

\*2 ギガフォン持分投資時価評価益26億円を含む(2011年度第2四半期より連結子会社) \*3 コマツレンタル吸収合併に伴う税効果127億円を含む

3

□建設機械・車両部門では、中国建機需要の回復遅れに伴う売上減を他地域の売上増、ならびに販売価格改善によってカバーしたものの、為替レートが米ドル、ユーロに対し円高で推移したこと等により売上は対前年同期比▲68億円、▲1.6%減収の4,297億円、セグメント利益は対前年同期比▲11%減益の542億円となり、セグメント利益率は12.6%となりました。

□産業機械他部門ではワイヤーソー需要低迷の影響が大きく、売上は対前年同期比▲174億円、▲28.9%減収の430億円となりました。セグメント利益は▲73.1%減益の23億円、セグメント利益率は5.5%となりました。

□連結営業利益は▲18.5%減益の557億円となり、営業利益率は対前年同期比▲1.9ポイントの11.9%となりました。

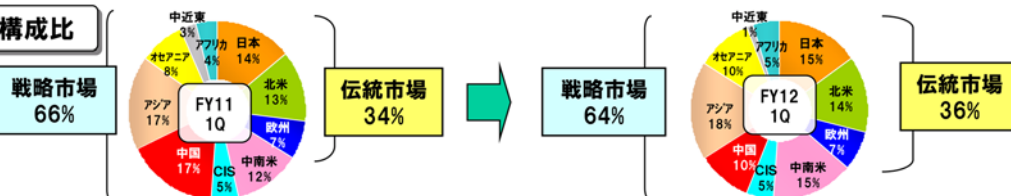
□純利益が対前年比▲42%と大きく減少していますが、昨年度の純利益にコマツレンタル(株)を吸収合併したことに伴う税効果127億円の影響を含んでいることによるものです。

## &lt;建設機械・車両&gt; 2012年度第1四半期(4-6月)の地域別売上高(外部顧客向け)

・中国での大幅な販売減を、中南米、オセアニアを中心とした鉱山機械ならびに北米、日本等他地域の販売増でほぼカバーするも、対前年同期比▲1.5%減収。

| (金額単位:億円) |       | FY2011/1Q | FY2012/1Q | 対前年同期比 |        |
|-----------|-------|-----------|-----------|--------|--------|
|           |       |           |           | 増 減    | 増減率    |
| 伝統市場      | 日本    | 614       | 625       | +11    | +1.8%  |
|           | 北米    | 551       | 619       | +67    | +12.2% |
|           | 欧州    | 315       | 279       | ▲36    | ▲11.6% |
| 戦略市場      | 中南米   | 509       | 633       | +123   | +24.3% |
|           | CIS   | 219       | 219       | ▲0     | ▲0.2%  |
|           | 中国    | 754       | 407       | ▲347   | ▲46.0% |
|           | アジア   | 748       | 785       | +36    | +4.9%  |
|           | オセアニア | 342       | 443       | +100   | +29.4% |
|           | 中近東   | 110       | 52        | ▲58    | ▲52.6% |
|           | アフリカ  | 185       | 224       | +38    | +20.9% |
| 合計        |       | 4,353     | 4,289     | ▲64    | ▲1.5%  |
| うち、鉱山機械   |       | 1,223     | 1,552     | +329   | +26.9% |

## 地域別売上構成比

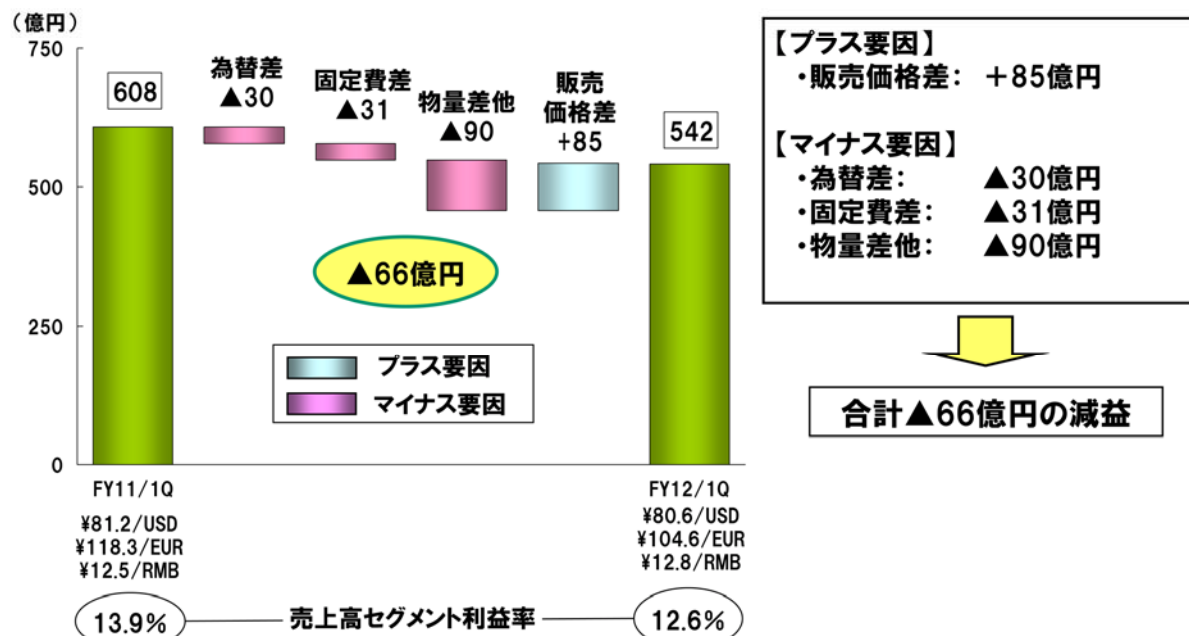


- 建設機械・車両の地域別売上高(外部顧客向け)をみると、北米や日本の建設機械、ならびにオセアニアや中南米、アフリカで鉱山機械が好調だったものの、中国が対前年同期比▲46.0%、▲350億円と大幅な減収になったことで、全体で対前年同期比▲1.5%、▲64億円の減収となりました。
- 欧州はユーロ安の影響を受け、対前年同期比▲11.6%となりました。
- 鉱山機械の売上(部品、サービス等含む)は、対前年同期比+329億円、+26.9%増収の1,552億円と好調でした。

## &lt;建設機械・車両&gt; 2012年度第1四半期(4-6月) セグメント利益の増減要因

・中国の大幅な需要減による物量減等を、販売価格の改善によりほぼカバーしたが、ドル、ユーロに対する円高、固定費増によるマイナスにより、対前年同期比▲66億円の減益。

FY2011/1Q vs. FY2012/1Q

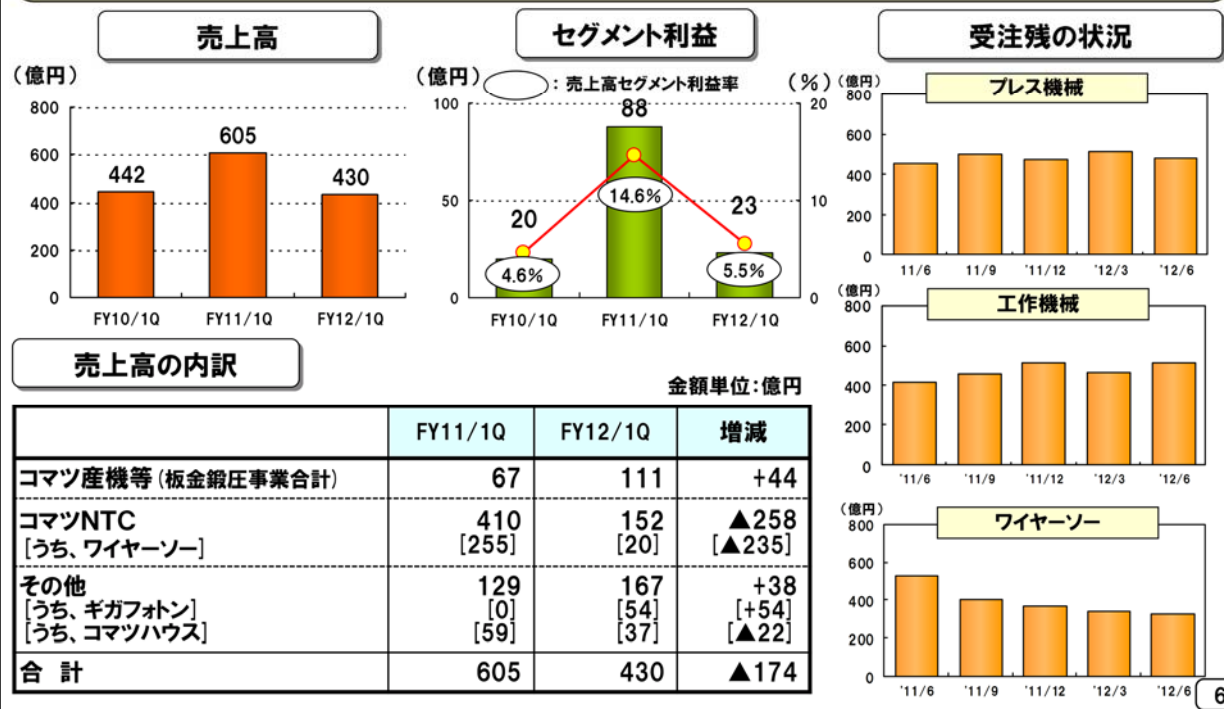


- 建設機械・車両のセグメント利益を前年同期と比較すると、マイナス要因としては、為替の影響▲30億円、業績連動賞与増加に伴う固定費増▲31億円、物量差他▲90億円あり、これを販売価格の継続的な改善により挽回したものの、対前年同期比が▲66億円減の542億円となり、セグメント利益率は12.6%となりました。
- 為替差のうち▲14億円は、ユーロの影響によるものです。



## ＜産業機械他＞ 2012年度第1四半期(4-6月)の売上高とセグメント利益

- ・ワイヤーソーの需要低迷による販売減を、堅調なプレス機械、工作機械でカバーできず、対前年同期比減収減益。
- ・プレス機械、工作機械の受注残は引き続き安定的に推移。



□産業機械他部門では、需要低迷によりワイヤーソーの売上が対前年同期比▲235億円の減収となり、堅調なプレス機械、工作機械等で挽回したものの、部門全体の売上高は対前年同期比▲174億円減収の430億円となりました。

□セグメント利益は対前年同期比▲65億円減の23億円となりました。

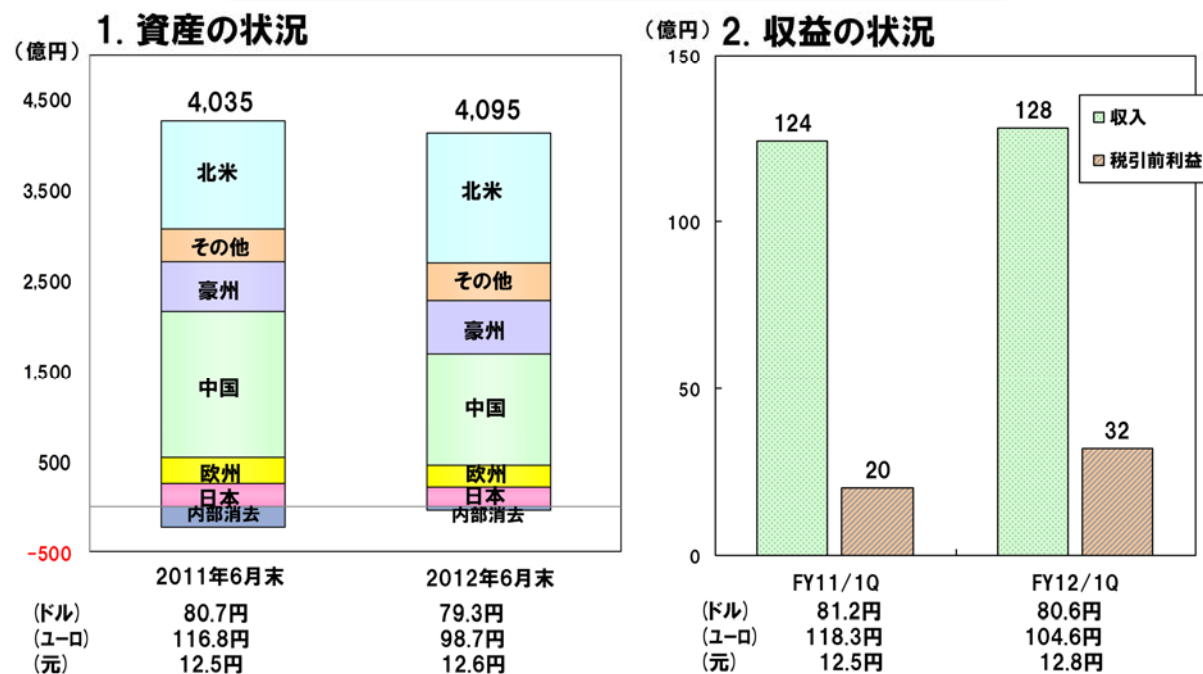
□昨年第2四半期から新規に連結子会社化したギガフォトン(株)の売上54億円により、コマツハウス(株)の売上減▲22億円を補いました。

□ワイヤーソーの受注残は減少が続いていますが、プレスと工作機械の受注残は、自動車メーカー向けを中心に安定した推移となっています。

## リテールファイナンスの状況

- ・中国の資産が減少する一方、北米での資産が増加。対前期末比で総資産は増加。
- ・北米での資産増加等により、対前年同期比増収増益。

## リテールファイナンス子会社の状況(社内管理ベース)



□リテールファイナンスは総資産が4,095億円となり、前期末に比べ+60億円(為替差を除く実質+約180億円)の増加となりました。

□建設機械の販売が好調な北米、豪州、タイ、チリで資産が増加しました。中国は販売減に伴い、資産が減少しました。

□収益面では、北米の資産増加に加え、中国の資産減少に伴う引当金の戻しが寄与して+12億円の増益となりました。

□中国では工事量の減少に伴い延滞比率が若干増加していますが、ファイナンスの保守的な運営に加えて、KOMTRAXを活用した債権管理を行うことにより貸倒損は発生していません。

## 連結貸借対照表

- ・受取手形及び売掛金の減少等により、総資産は前期末比762億円減少。
- ・株主資本比率は同0.3ポイント増の43.8%。

| 金額単位:億円<br>○:ネットD/Eレシオ                 | 2012.3.31<br>1ドル=82.2円<br>1ユーロ=109.8円<br>1元=13.1円 | 2012.6.30<br>1ドル=79.3円<br>1ユーロ=98.7円<br>1元=12.6円 | 増 減            |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------|----------------|
| 現金・預金(含む定期預金) [a]                      | 839                                               | 901                                              | +61            |
| 受取手形・売掛金(含む長期売上債権)<br>＜除くリテールファイナンス会社＞ | 7,440<br><3,975>                                  | 6,721<br><3,387>                                 | ▲719<br><▲587> |
| 棚卸資産                                   | 6,123                                             | 6,154                                            | +30            |
| 有形固定資産                                 | 5,296                                             | 5,219                                            | ▲77            |
| その他資産                                  | 3,504                                             | 3,446                                            | ▲58            |
| <b>資産合計</b>                            | <b>23,205</b>                                     | <b>22,442</b>                                    | <b>▲762</b>    |
| 支払手形・買掛金                               | 2,734                                             | 2,498                                            | ▲235           |
| 借入金・社債 [b]<br>＜除くリテールファイナンス会社＞         | 6,478<br><3,369>                                  | 6,559<br><3,587>                                 | +81<br><+217>  |
| その他の負債                                 | 3,418                                             | 3,126                                            | ▲291           |
| <b>負債合計</b>                            | <b>12,630</b>                                     | <b>12,185</b>                                    | <b>▲445</b>    |
| (株主資本比率)                               | (43.5%)                                           | (43.8%)                                          | (+0.3ポイント)     |
| 株主資本                                   | 10,096                                            | 9,833                                            | ▲263           |
| 非支配持分                                  | 477                                               | 424                                              | ▲52            |
| <b>負債及び純資産合計</b>                       | <b>23,205</b>                                     | <b>22,442</b>                                    | <b>▲762</b>    |
| <b>ネットベースの借入金・社債 [b-a]</b>             | ○0.56 5,638                                       | ○0.58 5,658                                      | +19            |
| ネットD/Eレシオ(リテールファイナンス会社を除いた場合)          | ○0.28                                             | ○0.31                                            |                |

□2012年6月末の総資産は22,442億円と、対前期末比▲762億円減となりました。

□売上債権の減少は主に中国等の売上減に伴うものです。

□棚卸資産は主に鉱山機械の需要増に伴い+30億円増加しました。中国の棚卸資産は▲150億円減少しています。

□借入金は+81億円増の6,559億円で、ほぼ棚卸資産の増加に起因するものです。

□リテールファイナンスを除くネット・デット・エクイティ・レシオは0.03悪化し0.31となりましたが、株主資本比率は+0.3ポイント改善し、43.8%となりました。



## 2012年度年間 業績見通し

- ・中国の建機需要の回復遅れ、燃料炭価格の下落による石炭鉱山向けの中・大型機械の需要減速リスクを織り込み、期初(4月26日)に公表した業績見通しを修正。
- ・期初見通しに対し、連結売上高は▲1,300億円減の1兆9,700億円、営業利益は▲530億円減の2,620億円の見通し。対前期比では、ほぼ前年並みの見通し。

％ 利益率 ( ) : 外部顧客向け売上高

金額単位: 億円

|               | FY2011/年間<br>(実績)<br>(A)<br>1ドル=79.0円<br>1ユーロ=109.6円<br>1元=12.4円 | FY2012/年間<br>(期初見通し)<br>(B)<br>1ドル=80円<br>1ユーロ=105円<br>1元=12.8円 | FY2012/年間<br>(最新見通し)<br>(C)<br>1ドル=79円<br>1ユーロ=99円<br>1元=12.6円 | 期初見通しとの差<br>(C-B) |               | 対前期比<br>(C-A) |                 |
|---------------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------|---------------|---------------|-----------------|
|               |                                                                  |                                                                 |                                                                | 増減                | 増減率           | 増減            | 増減率             |
| 売上高           | 19,817                                                           | 21,000                                                          | 19,700                                                         | ▲1,300            | ▲6.2%         | ▲117          | ▲0.6%           |
| - 建設機械・車両     | (17,393) 17,442                                                  | (18,860) 18,900                                                 | (17,660) 17,700                                                | (▲1,200) ▲1,200   | (▲6.4%) ▲6.3% | (+266) +257   | (+1.5%) +1.5%   |
| - 産業機械他       | (2,424) 2,511                                                    | (2,140) 2,200                                                   | (2,040) 2,100                                                  | (▲100) ▲100       | (▲4.7%) ▲4.5% | (▲384) ▲411   | (▲15.8%) ▲16.4% |
| - 消去          | ▲136                                                             | ▲100                                                            | ▲100                                                           | 0                 | -             | +36           | -               |
| セグメント利益       | 13.1% 2,586                                                      | 15.3% 3,210                                                     | 13.5% 2,650                                                    | ▲560              | ▲17.4%        | +63           | +2.4%           |
| - 建設機械・車両     | 14.1% 2,462                                                      | 16.9% 3,200                                                     | 14.9% 2,640                                                    | ▲560              | ▲17.5%        | +177          | +7.2%           |
| - 産業機械他       | 6.7% 167                                                         | 3.2% 70                                                         | 2.9% 60                                                        | ▲10               | ▲14.3%        | ▲107          | ▲64.2%          |
| - 消去または全社     | ▲44                                                              | ▲60                                                             | ▲50                                                            | +10               | -             | ▲5            | -               |
| その他の営業収益(▲費用) | ▲23                                                              | ▲60                                                             | ▲30                                                            | +30               | -             | ▲6            | -               |
| 営業利益          | 12.9% 2,563                                                      | 15.0% 3,150                                                     | 13.3% 2,620                                                    | ▲530              | ▲16.8%        | +56           | +2.2%           |
| その他の収益(▲費用)   | ▲67                                                              | ▲70                                                             | ▲100                                                           | ▲30               | -             | ▲32           | -               |
| 税引前当期純利益      | 2,496                                                            | 3,080                                                           | 2,520                                                          | ▲560              | ▲18.2%        | +23           | +1.0%           |
| 純利益 *1        | 1,670                                                            | 1,900                                                           | 1,570                                                          | ▲330              | ▲17.4%        | ▲100          | ▲6.0%           |

\*1 米国財務会計基準審議会会計基準編纂書810の適用による「当社株主に帰属する当期純利益」

9

□中国の建機需要の回復遅れ、燃料炭価格の下落による石炭鉱山向け鉱山機械や中大型建設機械の需要減速リスク、ならびにワイヤーソーの需要低迷を見込み、期初(2012年4月26日)に公表した2012年度の業績見通しを修正しました。

□為替レートは米ドル79円、ユーロは期初見通しに比べ6円円高の99円、元は12.6円の前提です。

□売上の見通しは期初に対し▲1,300億円減の19,700億円、営業利益は▲530億円減の2,620億円に修正しました。

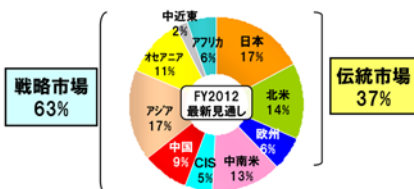
# <建設機械・車両> 2012年度年間 地域別売上高見通し(外部顧客向け)

- ・2012年度の建設機械・車両部門の売上高(外部顧客向け)は、期初見通しに対し▲1,200億円減の17,660億円となる見通し。
- ・うち建設機械は、期初見通しに対し、中国の需要回復遅れによる売上減、インドネシアの鉱山向け中型機械を中心とするアジアの売上減等、▲800億円の売上減を見込む。
- ・鉱山機械では、燃料炭の価格下落の影響により、インドネシア向けを中心に、期初見通しに対し▲400億円の売上減を見込む。

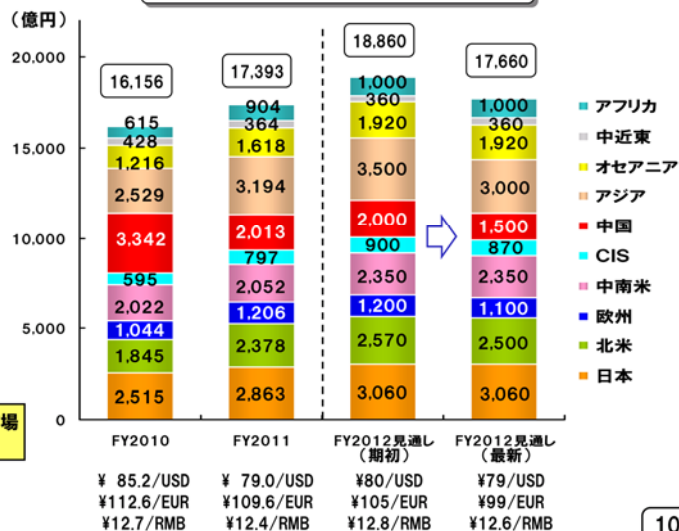
## 期初見通しに対する売上見通しの修正

金額単位:億円

|     | 建設機械 | 鉱山機械 | 計      |
|-----|------|------|--------|
| 中国  | ▲500 |      | ▲500   |
| アジア | ▲200 | ▲300 | ▲500   |
| 欧州  | ▲100 |      | ▲100   |
| 北米  |      | ▲70  | ▲70    |
| CIS |      | ▲30  | ▲30    |
| 合計  | ▲800 | ▲400 | ▲1,200 |



## 地域別売上高(外部顧客向け)



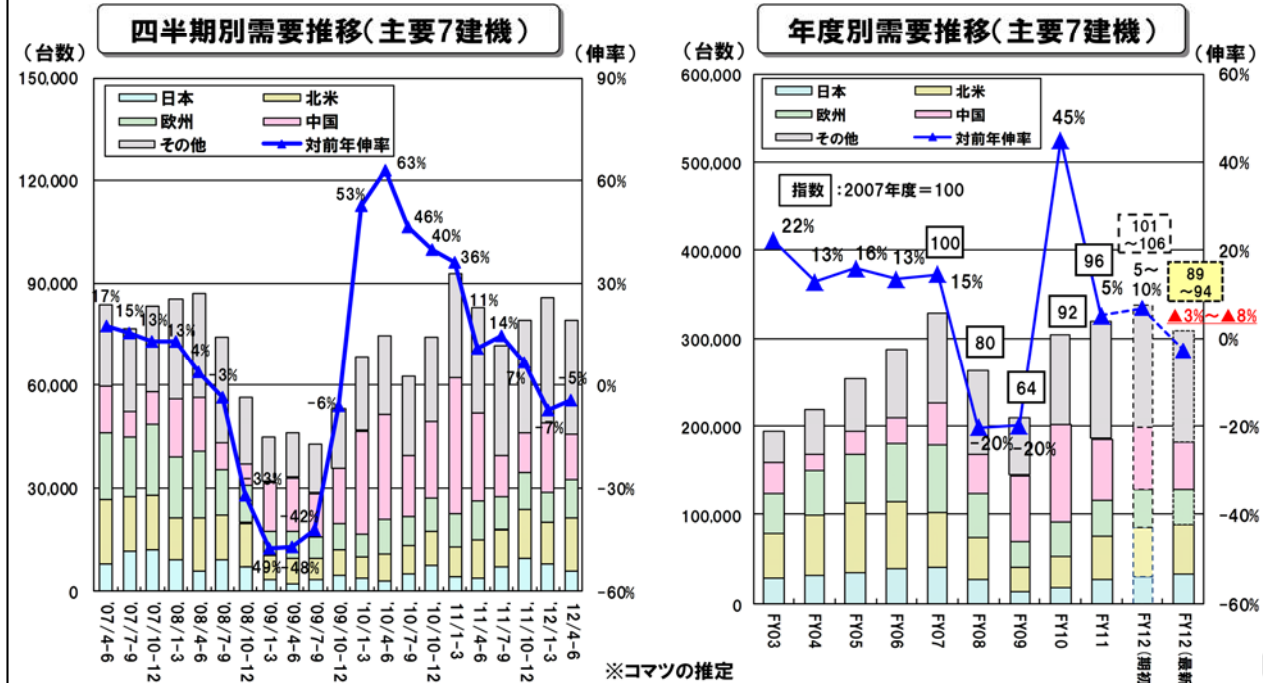
□業績見通し修正後の建設機械・車両の売上高は、期初見通しを▲1,200億円下回る17,660億円の見通しです。

□修正の内訳(左表)は、中国における建設機械需要回復遅れの影響が▲500億円、燃料炭の価格下落に伴い、インドネシア鉱山向け売上減が建設機械・鉱山機械あわせて▲500億円、北米・CIS合わせて▲100億円、ならびに欧州の為替差の影響で▲100億円を見込んでいます。

# <建設・鉱山機械> 主要7建機需要推移

(1Q実績) : 日本、北米の需要が堅調に推移する一方で、中国の需要は前年同期比で約半減。  
対前年同期比▲5%。

(年間見通し): 中国の需要回復の遅れに加え、燃料炭の価格下落に伴い、インドネシアを中心に  
石炭鉱山向けの中・大型機械需要も減速の見込み。対前期比▲3%~▲8%の見通し。



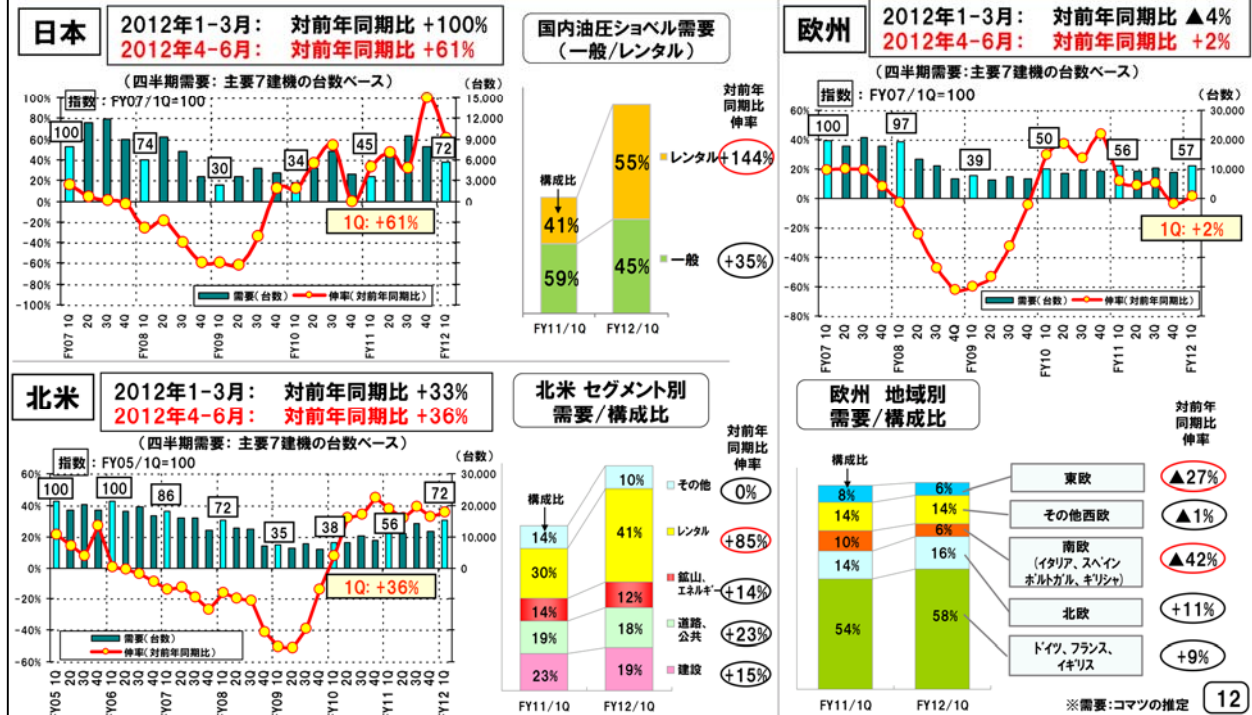
□当四半期(2012年第1四半期)の主要7建機の需要は、日本、北米、オセアニア等で堅調に推移したものの、中国の需要がほぼ半減したことによって、全体で対前年同期比▲5%のマイナスとなりました。

□2012年度年間の需要見通しは、中国の需要回復の遅れに加え、燃料炭の価格下落に伴う石炭鉱山向け需要の減速リスクを反映し、対前期比▲3~▲8%減を見込んでいます。



## &lt;建設・鉱山機械&gt; 主要市場の需要推移①: 伝統市場

- ・第1四半期の国内の需要は、レンタル向けの需要が特に大きく伸長し、対前年同期比+61%。
- ・北米の需要は、住宅、道路建設向けが堅調であったことに加え、レンタル向けが伸長し、同+36%。
- ・欧州の需要は、南欧、東欧の需要が大幅減となったが、独仏英、北欧の需要は堅調に推移し、同+2%。



□当四半期、日本では東日本大震災被災地の復旧・復興に必要とされるレンタル機の需要増に伴い、建設機械の需要が対前年同期比+61%と大きく伸長しました。復興の本格化につれて、今後はレンタル以外の需要も拡大する可能性があります。

□北米は住宅、道路建設向け建機需要が好調であることに加え、レンタル向け需要が強く、当四半期の需要は対前年同期比+36%と堅調に推移しました。

□欧州では需要の約6割を占める独、仏、英が対前年同期比+9%と底堅いことに加え、財政危機の影響を強く受ける南欧の需要構成比が全体の約6%に留まり影響が軽微なこと、北欧が林業をはじめ堅調なことから、欧州全体の需要は対前年同期比+2%と増加しました。

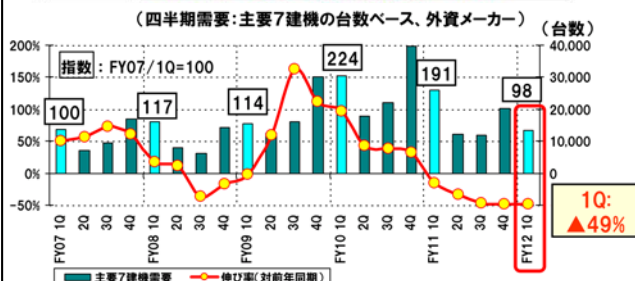


## &lt;建設・鉱山機械&gt; 主要市場の需要推移②: 戦略市場(中国)

- ・新規工事の進捗遅れにより、第1四半期の需要も低調に推移し、対前年同期比▲49%。
- ・足元でも需要回復の兆しは見え、当面は低調に推移すると見込む。2012年度の需要は、対前期比▲20～▲30%の見通し。

## 中国

2012年1-3月: 対前年同期比 ▲49%  
2012年4-6月: 対前年同期比 ▲49%

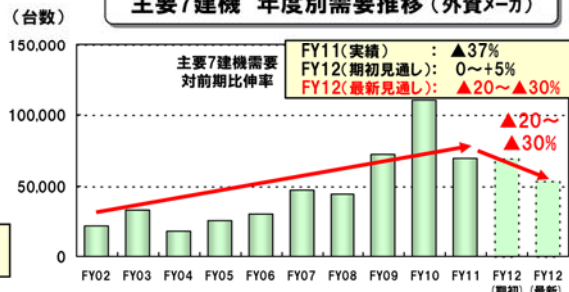
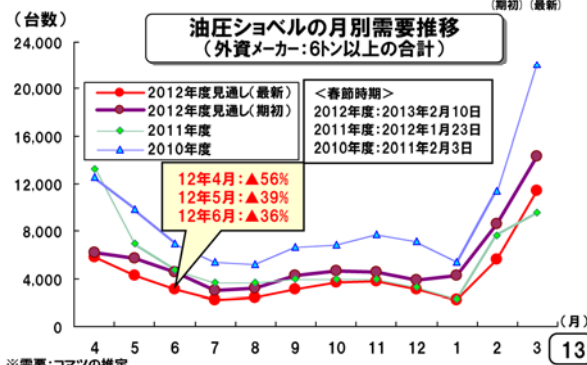


- 政策面での後押しはあるものの、本格的な需要回復には至らず。
  - ① 預金準備率の引き下げ(11月、2月、5月: 計1.5%引下げ。現在20%)
  - ② 貸出基準金利の引き下げ(6月、7月: 計0.56%引下げ。現在6.00%)
  - ③ 鉄道建設投資の拡大を発表
- 足元の稼働時間にも回復の兆しは見られない。

## &lt;KOMTRAX(中国): 月平均稼働時間・前年同月比&gt;



## 主要7建機 年度別需要推移(外資メカ)

油圧ショベルの月別需要推移  
(外資メーカー: 6トン以上の合計)

※需要: コマツの推定

13

□中国では、中央政府による金融政策はとられているものの、新規工事の増加には至っておらず、建設・鉱山機械の需要は昨年の第3四半期以来、3四半期連続で対前年同期比5割程度という低い水準が続いています。

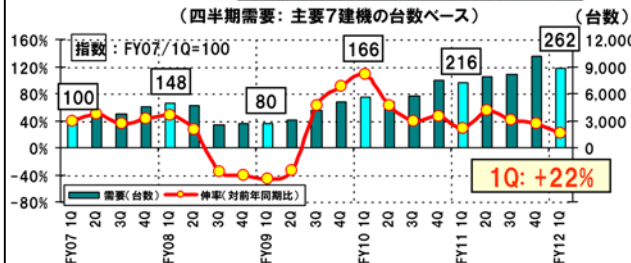
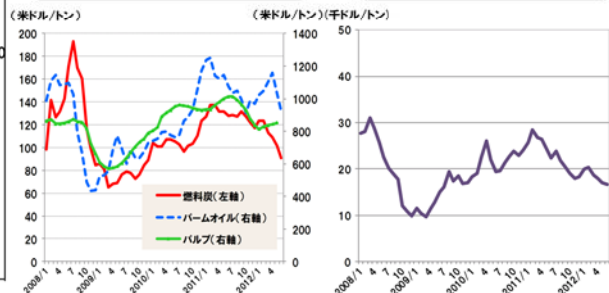
□足元でも回復の兆しは見えないことから、需要の低調な状況はしばらく続くとみており、2012年度通期の需要見通しは対前期比▲20～▲30%となる見通しです。

## &lt;建設・鉱山機械&gt; 主要市場の需要推移②: 戦略市場(東南アジア)

- ・燃料炭の価格下落に伴い足元の需要は減少傾向にあるが、第1四半期は対前期比+22%。
- ・第2四半期以降は、インドネシア向けを中心に需要の減速を見込む。

## 東南アジア

2012年1-3月: 対前年同期比 +36%  
2012年4-6月: 対前年同期比 +22%

燃料炭/バームオイル/バルブ  
価格推移

## ニッケル価格推移



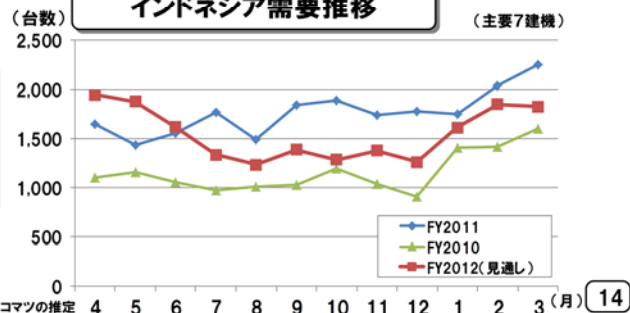
## インドネシア 市場動向

- ① 燃料炭価格下落に伴う石炭鉱山の減産等  
石炭鉱山(山元・コントラクター)の動向

|    | 山元業者                         | コントラクター   |
|----|------------------------------|-----------|
| 中小 | 一部、操業停止の動き                   |           |
| 大手 | 高コスト・低カロリー炭を<br>中心に減産・生産計画変更 | 減産・生産計画変更 |

- ② 未加工鉱石に対する輸出関税(2012年5月～)
- ・対象: 65品目(ニッケル、錫 等)
  - ・輸出関税: 20% (2014年以降 全面輸出禁止)

## インドネシア需要推移



※需要: コマツの推定

14

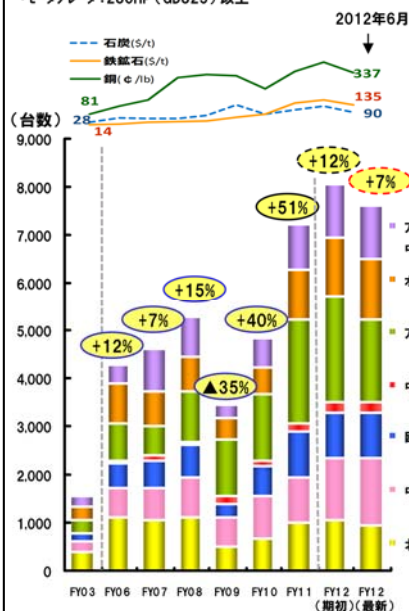
□ 東南アジアの建設・鉱山機械需要の約60%を占めるインドネシアでは、燃料炭の価格下落に伴って、採算の厳しい中小石炭鉱山を中心に減産の動きが広がり、鉱山向けの需要が6月から減少しています。

**<建設・鉱山機械> 鉱山機械の地域別需要と売上高、受注残の状況**

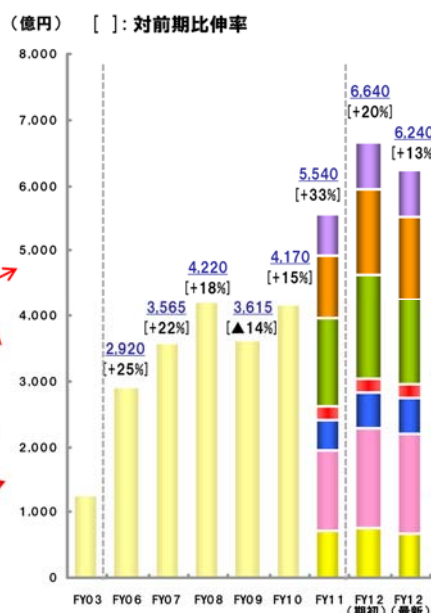
- ・鉱山機械の需要は、石炭価格下落の影響により期初見通しを下回るものの、対前期比+7%増を見込む。
- ・年間の売上高も、期初見通しは下回るが、対前期比+13%増となる見込み。
- ・受注・引合いはインドネシア向けを除き堅調で、受注残も引き続き堅調に推移。

## 鉦山機械 地域別需要推移

・ダンブトラック:75t (HD785) 以上 ・ブルドーザ:525HP (D375) 以上  
・エクスカベータ:200t (PC2000) 以上 ・ホイールローダ:810HP (WA800) 以上  
・モータグレーダ:280HP (GD825) 以上

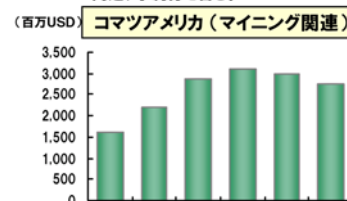


**鉦山機械 地域別売上高**  
 (部品・サービス含む)

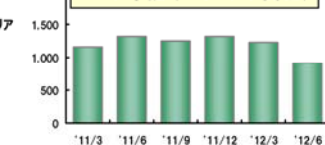


### 鉦山機械の受注残\*の状況

\* 本体のみ。(部品・サービスを除く)  
内定、予約分を含む。



コマツ単独（マイニング関連）



(R)



2/6 15

- 鉱山機械は、鉄鉱山、銅鉱山向けの需要は引き続き堅調ですが、燃料炭価格の下落に伴いインドネシアや北米等の石炭鉱山向け需要の減速を織り込み、2012年度の鉱山機械需要を期初見通しから▲5ポイント下方修正し、対前期比+7%としました。
- 鉱山機械の受注残は、ダンプトラックHD785等インドネシア向けの比率が高い「コマツ単独」で減少傾向にあるものの、電気駆動式ダンプトラックを生産するコマツアメリカや、超大型油圧ショベルを生産するコマツマイニングジャーマニーでは引き続き高い受注残レベルを維持しています。
- コマツアメリカ・コマツマイニングジャーマニー2社においては2012年度の受注充足率は9割以上に達し、2013年度の商談も進展している他、2014年度の商談も始まりつつあり、インドネシア向けを除き鉱山機械の需要は引き続き堅調です。

建設機械で培ってきた油圧・制御技術を結集した  
油圧駆動式の新型フォークリフト FH50-1



#### 【見通しに関する注記事項】

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

コマツ 経営管理部

TEL: 03-5561-2687  
FAX: 03-3582-8332  
<http://www.komatsu.co.jp/>